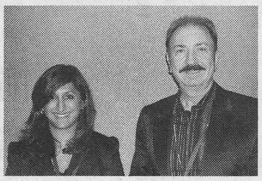
Publication: Tsushin Kogyo Shimbun (Telecommunications Industry Newspaper)
Date：2010/01/18
Subject: Series – The Evolving Telecom Industry --- from NetEvents 2009
Acquires Nortel's VoIP
GenBand – Acquires IMS Demand in Japan (Page 4)

シリーズ
進化するテレコム企業 ④
「Net Events 2009」から

ジェンバンド



メーメット・バロス上級副社長兼CMO（右）とナターシャ・タマスカール製品マーケティング担当副社長

ノーテルのVoIP買収
日本でIMS需要獲得へ

通信キャリア向け次世代IPゲートウェイおよびアプリケーションベンダの米GENBAND（ジェンバンド、本社・テキサス州プラノ）は12月28日、カナダ通信機器大手ノーテルネットワークスのキャリアVoIPアプリケーション事業（CVAS）のほぼ全資産を買収すると発表した。買収金額は2億8200万米ドル。ジェンバンドは、この買収により、同社のゲートウェイ技術とノーテルのソフトスイッチ技術やアプリケーション技術を組み合わせ、包括的なVoIPポートフォリオの提供を目指す。同社戦略について、「世界市場における売上高を3年半で5倍に広げるとする当社ビジョンの成否は日本での成功いかんによる」と、日本進出への意欲を示した。

◇

ジェンバンドは99年に設立した通信キャリア向けゲートウェイベンダだ。06年に独シーメンスのスイッチ部門を買収、07年には米テケレックを買収しVoIPメディアゲートウェイ市場でシェアを拡大してきた。同製品のOEM供給先にはアルカテル・ルーセントやノーテル、ZTEなどのほか、NECもパートナーの1社。

ジェンバンドとNECは携帯電話会社のコアネットワークにフェムトセル基地局と接続するフェムトセルソリューションを実現する。さらにNECは、ジェンバンドとの技術提携をテコに欧米携帯電話会社にもフェムトセル技術を展開する見通しだ。一方、ジェンバンドの市場競争力に対する評価も高まっている。各

これまで、フェムトセル方式の標準化と相互運用性、製品の普及促進を目指す業界団体「フェムトセル・フォーラム」で協調してきた。ジェンバンドはメディアゲートウェイとシグナリングプラットフォームの両機能を備えた「G9」をNECに供給。NECは、日本のテレコム市場調査会社が実施している世界のキャリアグレードのVoIP機器、メディアゲートウェイ機器・ソフト市場調査によると、これまで市場プレーヤーとしてノーテル、ノキア・シーメンス、シスコ、アルカテル・ルーセントなど10年間、次世代IPゲートウェイ機器に特化した市場で最も高いシェアを獲得したと報告している。創業以来、富士通アメリカで7年間メーメット・バロス副社長は、本紙のインタビューに答え、「当社の優位性はH.248、SIPなどIP技術のグローバルスタンダードで先行してきた点にある。ワイヤレスIP網の基幹システムと光加入者網の領域での市場競争力には自信がある」と語った。

同社が当面のターゲットにしているのが、世界トレンドとなっているフェムトセル市場だ。バロス副社長は今後の事業戦略について、「英国のオレンジやボーダフォンにとってフェムトセル方式は事業戦略のカギを握る重要な技術だが、同じように日本でも市場トレンドとなるだろう。世界市場における売上高を3年半で5倍に広げたいがその成否は日本での成功いかんによる。日本市場への進出には現在OEM供給で提携しているNECのサポートが欠かせない」と、日本進出への意欲を示した。

通信興業新聞社
発行所　東京都中央区銀座7－3－13
発行人　鈴木　茂
郵便番号　104-0061
電話　(03)3572-4488(代)
FAX　(03)3572-4866
振替口座　00170-6-100661